

ロボティクスシーズマッチング at 日本工業大学

参加費
無料

「ロボティクスシーズマッチング」では、大学や研究機関が持つ優れたロボット技術シーズを活用し、企業とのマッチングを通じて、ロボット産業の拡大を目指します。今回は、日本工業大学の技術シーズを紹介します。皆様の課題に対するソリューションのヒントが眠っているかもしれません。是非とも御参加下さい!!

日時 平成30年7月24日(火)

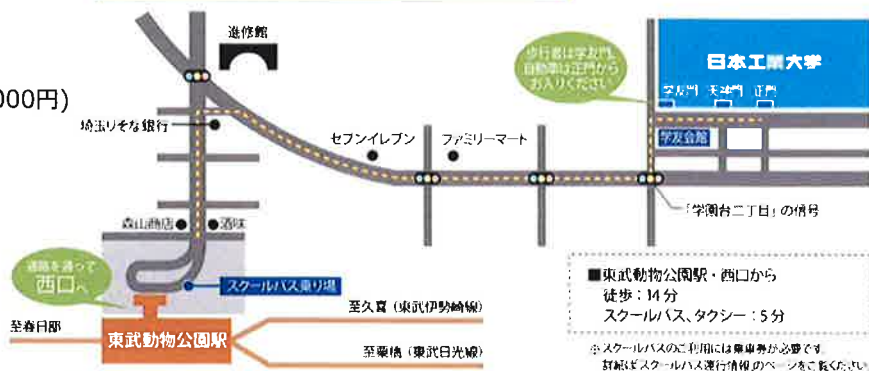
東武動物公園駅 西口から徒歩14分

シーズ発表会 13:30~17:00

(受付開始13:00)

懇親会 17:00~18:00 (会費:1,000円)

会場 **日本工業大学**
宮代キャンパス LCセンター
埼玉県南埼玉郡宮代町
学園台4-1



定員 **100名** (受付順)

内容 **日本工業大学の技術シーズの紹介**

	シーズ名 (研究者)	シーズの概要	今後取り組みたい研究 開発及び希望連携先
1	ヒューマンインターフェースを考慮した医療福祉機器 先進工学部 ロボティクス学科 教授 中里 裕一	医療・福祉・介護機器の開発をヒューマンインタフェースの視点で設計・開発しています。ペットロボットの形状や材質から始まり、自動化のレベル・知能化の有無などを検討します。また、電動モータを使わない静音アクチュエーターの開発も行っております。	①医療機器・福祉機器の開発を行いたい企業 ②人間との共存を考えた自動機器の開発を行いたい企業 ③ヒューマンインタフェース機器の開発を行いたい企業
2	新しいロボット機構 先進工学部 ロボティクス学科 教授 樋口 勝	水圧モーター駆動の1つの回転ブラシで移動と洗浄を両立する小型洗浄ロボット、省設置スペースで大作業領域の平行機構、歩行形態を変えることで高移動効率と対地適応性を両立した4足歩行ロボット等の開発を行っています。	①車輪以外の移動機構を必要としている企業 ②アーム形の産業ロボットでは困難な、高速・高精度かつ大負荷の作業をロボットにより自動化したい企業 ③製品の実用化に協力していただける企業
3	非接触での生体情報センシング技術 先進工学部 ロボティクス学科 准教授 秋元 俊成	非接触での生体情報計測を目指して研究を行っています。レンズとフォトトランジスタを用いた血中酸素飽和度の計測を1例として、その他、病院や高齢者施設での携帯情報モニタの計測システムの開発を行っています。	①医療機器・介護機器の開発を行いたい企業 ②距離画像センサや画像センサで自動化をしたい企業 ③福祉機器等の評価を依頼したい企業

※上記3テーマの御紹介の他に、ロボティクス学科の各研究室によるパネルセッションも予定しています。

主催 埼玉県、公益財団法人埼玉県産業振興公社、学校法人日本工業大学

後援 株式会社埼玉りそな銀行、株式会社武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、西武信用金庫、飯能信用金庫、青木信用金庫、一般社団法人さいしんコラボ産学官

申込書は裏にございます

ロボティクスシーズマッチング at 日本工業大学 参加申込書

日本工業大学は昭和42（1967）年の開学以来、一貫して実践的なエンジニアを目指す「実工学教育」を実践してきました。平成30年4月、グローバル化の進む世界、多様な課題を抱える社会、変化する人々の暮らし……。移り変わる時代の流れを受け、社会が求める人材像も大きく変化しています。本学では、こうした時代背景を踏まえて、これからの社会が求める、社会の変化に適応できる人材を育成し輩出できるように、現在の1学部7学科を3学部6学科2コースへと改編いたしました。

先進工学部・ロボティクス学科は、工学の基礎となる技術・知識の修得とともに科学技術の進歩や産業構造の変化等に対応できる力、新たな価値観に基づく先進技術を創造・開発する能力を身につけた、「ロボティクス」分野の先進技術者を養成することを目的としています。

【お問い合わせ】日本工業大学 産学連携起業教育センター 【Mail】 sangaku@nit.ac.jp

企業・団体名		業種	
所属・役職		フリガナ氏名
住所	〒 -		
TEL FAX	E-Mail	
興味のあるシーズテーマに○を付けてください（複数回答可）	1. ヒューマンインタフェースを考慮した医療福祉機器 2. 新しいロボット機構 3. 非接触での生体情報センシング技術		
ロボット関連、その他、モノづくりに関してお困りの方は研究開発したい内容をご記入ください。			
懇親会（いずれかに○を付けてください）	1.出席する（会費:1000円）		2.欠席する

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

【個人情報の利用目的のご案内】

当社は個人情報を、以下の目的で利用させていただきます。また、募集活動で入手した情報は、当センターの事業で使用し管理します。差し支えがある場合、事前にお申し出ください。

・研修やイベントに関する情報のご案内（送付を含みます） ・各種相談やお問い合わせに関する対応など

・公社が実施する各種調査の公表 ・運営上必要となる参加者名簿、受付簿の作成

※申込書にご記入いただいた範囲内での参加者名簿として講師に提出します。

※公表する際は特定の個人を識別できないように配慮します。

お申込み・お問い合わせ先

公益財団法人埼玉県産業振興公社
 先端産業支援センター埼玉 担当：長谷部

〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2

TEL:048-711-6870 FAX:048-857-3921

URL:http://www.saitama-j.or.jp/sentan/ Mail:sentan@saitama-j.or.jp

詳しい情報



<https://www.nit-bc.com/robo/>

SIPC

お申込は
 FAXまたはメールで

FAX : 048-857-3921
 Mail : sentan@saitama-j.or.jp